

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上や、新規感染者の減少が続けば、確実に景気は上昇する。
	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスはなかなか収まらなさそうだが、人々の経済を回そうという意識が高まってくるので、景気は良くなる。
	◎	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	・パンデミックから抜け出せると感じている。
	◎	観光型ホテル（経営者）	・最悪の2年間を乗り越えて、そろそろ通常どおり営業したいという期待も込めて、良くなると回答している。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊はゴールデンウィークを中心に、個人予約が伸びてきており、学生のスポーツ大会等の団体予約も入ってきている。料飲部門も少人数の会食や宴会等が動き出してくると見込んでいる。
	○	一般小売店 [土産]（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除前から、客足が徐々に増えてきている。こうした客の状況を見ると、各自で判断して旅行に出かける方が増えてきているようである。特に、この3月は、卒業旅行の若者のグループや、進級を控えた子供連れの家族が目立っている。Go To 事業は有り難いが、そのお陰で密ができてしまうので、密を避けるためにも、Go To 事業が始まる前に旅行に行こうと考える方も一定数いる。自粛疲れもあり、Go To 事業を行わずとも、旅行の需要はあると感じている。
	○	一般小売店 [青果]（店長）	・まん延防止等重点措置が解除になったことで、多少は違ってくると思うが、新型コロナウイルスの感染者数がかかなり減っていない限り、皆、気を付けているので、今までや昔のように、外食や飲み歩き等はしないのではないかと。
	○	百貨店（営業担当）	・来客数の増加で、これまで以上の買い回りが期待できるため、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・相次ぐ商材の値上げや、戦争など世界情勢への不安も感じるものの、今年に入って新型コロナウイルスとの共存は進んでいる。日中の人出や車の動きは以前に近くなってきている。3～4月は人の移動もあり、今後の変化に気を配りながら、客の要望の変化に対応して、商材の品ぞろえ等を注意し、売上を伸ばしたい。
	○	コンビニ（経営者）	・競合店の閉店により、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況は、収束していくのではないかと。
	○	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	・季節的にも暖かくなるので、上向くと予想している。
	○	都市型ホテル（支配人）	・先の予約数の動きが増加傾向にある。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・まん延防止等重点措置が解除となり、少しずつ来客数も増えていく気配はある。とはいえ2019年と比べると、宿泊は約70%、レストランが約85%、宴会に至っては35%と、新型コロナウイルス禍前とは程遠い。特に宴会は、金融系がまだ動かないため、低調のまま推移している。
	○	旅行代理店（経営者）	・Go To Travel キャンペーンが再開予定のため、やや良くなる。
	○	旅行代理店（所長）	・まん延防止等重点措置が全国的に解除され、加えて、地域限定割引の再開とゴールデンウィーク以降にはGo To Travel キャンペーン再開も見込まれるため、旅行予約の動きは、今後活発になると期待される。
	○	旅行代理店（従業員）	・このまま需要がなくならなければ回復する。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がることで感染率が低下すれば、人の動きも活発になり、消費回復が期待できる。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率向上に加え、新規感染者数増加が抑えられれば、春休みやゴールデンウィークに向けて、来園者数の増加が期待できる。	
○	競輪場（職員）	・まん延防止等重点措置も解除され、天候も暖かくなるので、今よりも良くなると期待したい。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・暖かくなってきて、人の動きが良くなることを希望するが、新型コロナウイルスオミクロン株の減少が第一だと思っている。感染が落ち着いてくれば、幾らか人の動きも良くなってくるので、期待が持てそうである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除されたものの、新型コロナウイルスの新規感染者数は依然多く、収束に向けた見通しは不透明である。また、エネルギー価格を始めとした物価高騰による生活防衛意識の向上により、消費低迷はしばらく継続する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・まん延防止等重点措置が解除となるも、新型コロナウイルス新規感染者数が減らず、売上の回復には厳しい状況が続くと考える。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品部担当）	・景気回復支援事業も拡充されそうな感じで、人々の動きが出るような話題も多く、期待している。ただし、先行きに対する不安感は払拭される感じはなく、現状維持が続く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（統括）	・変わらないと回答したが、このまま最悪の状況がまだ続くような気がしている。特に、祭礼用品を扱う当店の商売は、職人仕事も多いが、仕事が滞っている。なかなか注文がなく、職人も高齢になっているので、辞めてしまう業者が多くある。今後、正常に戻っても、今度は商材の提供が難しくなるのではないかと。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売担当）	・もう2年以上同じような対応策で、新型コロナウイルスの感染者が増えると、飲食店を中心に社会経済活動を止めてしまうので、何回も同じてつを踏んでいる気がする。もう飲食店だけを止めても何の効果もないのが、分かっているのではないかと。今後は、きちんと見える化した形で、国民全体が動き回れるように、良い悪いを見極められるような政治決断が必要になってくるのではないかと。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、部品のサプライチェーンからの納入が今一つ順調ではないため、時折、生産停止日を設定している。依然として受注から納車までの日数が掛かっている状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルス禍が落ち着かない限りは、当社は観光地を控えている立地なので良くなる。このままずっと新型コロナウイルスが落ち着くまでは横ばい状態で、景気は良くなるが、これ以上は悪くもならず現状維持だとみている。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・ここ1～2か月は、人の動きや販売量はほどほど戻ってはきている。ただし、いきなり人や販売の動きが止まったり、仕入れがうまくいかなかったりという要素があるので、今のところ先が読めない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が全国的に解除されたが、客の動きが急に良くなるとは考えにくい。また、長期的に生活スタイルが変わり、物への消費に厳しくなっている。一方、供給側の問題として、メーカーの商材供給の不安定さは素材価格上昇と生産の不安定さが大きな原因と考えられる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・地方では、まだまだ時間が掛かりそうな気がする。
<input type="checkbox"/>	タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も変わらない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が分からないため、変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・3回目の新型コロナウイルスワクチン接種が進んではいるものの、まだ新型コロナウイルス新規感染者が減少しているとはいえ、景気回復の兆しは見えない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・いろいろな物価が値上がりしたため、生活に影響が出てくる。景気が良くなる要素はない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に落ち着く心配がないため、流通状況は改善されないと予想している。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・住宅への関心は高いものの、新型コロナウイルスの影響は続くと思われるので、良くなるとは余り期待できない。ただし、現状以上に悪くなることも考えにくいので、変わらない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍によって国から借りた借入金の返済が迫ってきているが、一向に売上が見込めないため、大変苦しい。
▲	スーパー（総務担当）	・電気、ガス料金の値上げや、その他各商材の値上げが続くため、やや悪くなる。

▲	家電量販店（店員）	・今後の天候要因による季節商材の伸びと、巣籠り需要の継続が期待される。ただし、新型コロナウイルス禍の動向や半導体の供給度合いによる商材生産能力が心配される。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注残が減少している状況が、依然として続いている。
▲	住関連専門店（店長）	・ウクライナ情勢の今後がまだみえない上、新型コロナウイルスの感染拡大第7波もいつ発生するのか不明なため、やや悪くなる。
▲	住関連専門店（仕入担当）	・生活防衛意識はさらに高まり、し好品への消費は抑制される。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染状況等の影響次第で、今後も事業所給食の提供食数は影響を受ける懸念がある。また、食材、エネルギーコスト、人件費の上昇により、収支面で厳しい状況が続くことも懸念される。
▲	通信会社（社員）	・ロシアのウクライナ侵攻の影響等、物価上昇が予想され、景気は余り良くならない。
▲	通信会社（総務担当）	・新年度からキャリアによる代理店手数料の改定があるため、やや悪くなる。
▲	通信会社（局長）	・ウクライナ情勢や東北地方で起きた地震により、電力価格が高騰しており、新規受付を停止する等の対策が必要になるため、やや悪くなる。
▲	美容室（経営者）	・小さな地方都市で、新型コロナウイルス倒産ではないが商売の先行きに不安があり、廃業を考えているという声をよく耳にする。生活形態がすっかり変わり、外出を控える状態に人々が慣れてしまうことで、営業ができなくなりそうである。老舗店こそ経費のしわ寄せは経営者に集まる。こうなるとなす術がなく無力である。
▲	美容室（経営者）	・株式投資は対価としてリスクに見合う利益が伴わなければうまみはない。投資家を優遇する税制を望む。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ひっ迫した経済状況は、回復の兆しも見えない。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・物価高に給料が追いついていない。店としても材料費等の高騰分を価格に転嫁せざるを得なくなってくるが、それ以上に客の負担が増えるということなので、悪くなる。
×	コンビニ（経営者）	・世間がこのような状態で客が全然来ないことが原因である。
×	家電量販店（営業担当）	・ロシアとウクライナの戦争が大きく影響しているため、終息に期待している。
×	一般レストラン（経営者）	・4月から、更に物価が上がるのに給料が上がらないので、外食は限定的だと思われる。当店でも仕入値が上がるのは間違いなく、場合によっては値上げも検討しなくてはならない。この先しばらくは不景気になっていくだろう。
×	一般レストラン（経営者）	・原材料はとにかく何でも値上げである。輸入品も輸送料の関係で上がる。消費者も慣れるまでは買い控え等があるのではないかと。
×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・円安で当社のような輸入に頼っている職業は、全ての物が値上がりしている。円安以外でもウクライナの関係で、小麦粉や燃料等が上がってきており、通常、年間である程度の値幅はあるが、1年に何度も値上げがあつて、売価を上げなくてはならない。インフレも起きていて、客の給料が上がらないなか、近い将来すぐにも、購買が落ちてくると考えられる。
×	都市型ホテル（経営者）	・まん延防止等重点措置は解除されたが、一向に客足は戻らない。
×	通信会社（経営者）	・仕入コストの高騰が止まらない。4割くらいしか売価に転嫁できないのが現状である。量的緩和もいい加減にしてほしい。10年近く続けた金融政策も効果がないことは明確である。また、ロシアのウクライナ侵攻で状況は一変したにもかかわらず、金融政策の現状維持は余りにも無策ではないか。言うまでもなく、業績は最悪である。既に経常赤字国になっている日本も、利上げをすべきではないか。
×	通信会社（経営者）	・飲食店のみならず、まだまだコロナの影響は多大であり、関係会社やユーザーである飲食店や中小企業が、3月末時点で5社、廃業や閉店に追い込まれている。

	×	ゴルフ練習場（経営者）	・ロシアからの原料入荷がなく、国内製造がストップしていることと、新型コロナウイルスの影響により、アジアからのコンテナが入らないため、商材を発注しても入荷の見込みがない。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	経営コンサルタント	・まん延防止等重点措置が解除になり、消費の加速度的な拡大傾向が続けば、地域経済も着実に盛り上がってくる。
	○	社会保険労務士	・政府は物価上昇に対して景気対策を打つだろうが、参議院議員選挙もあるので、そこそこ効果が出るとみている。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・商談件数、受注量からみても業績は改善されると思われる。ただし、取引先の調達コストは増加傾向にあり、先行きの情報化投資を控える取引先も出てきている。
	□	化学工業（経営者）	・漂っている不透明感が払拭できないため、現状より良くなるとは考えていない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・例年以上の売上で年度末を迎えられる。
	□	金属製品製造業（経営者）	・景気が良くなる話はない。これからは自己努力をして、良い取引先を探さなければならないが、なかなかそういう取引先を探すのは大変である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・昇降機の3か月後の受注量は好転するかと思っただが、新型コロナウイルス禍前の8割止まりかというところである。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻の今後の予測が付かない上に、世界的な半導体関連商材不足がどうなるかによっても大きく変化するので、正直予測は全く付かない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・3月は1～2月と比べてかなり仕事が増えてきたが、2～3か月先は、まだロシア問題等があるので、全くどうなるか分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルスの影響が残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・例年同様、キャンプ、バーベキュー、レジャー用品等や、園芸用品等の物量は前年並みを確保予定である。しかし、ウクライナ情勢等の影響による原油価格高騰や円安による輸入品の割高感により、物量減少等の不安材料は多い。
	□	不動産業（経営者）	・入退居の時期が終わると、作業依頼は少なくなる傾向にある。
	□	広告代理店（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除になったが、すぐに経済が大きく回るわけではないので、閉店や廃業する飲食店は、もっと増えるのではないかと。
	□	司法書士	・新型コロナウイルス対策について、少し思い切った措置を取っていくようになれば変わってくるのではないかと。現在の対策は時期を逸した感じで消極的すぎると感じている。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ウクライナとロシアの戦争が始まった。これがいつまで続くか分からないので、先が見通せない。とにかく早く戦争が終わってほしい。
	▲	建設業（総務担当）	・発注量がとにかく少なく、先が読めず不安である。
×	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車、建設機械等のロシア向け輸出の動きが止まるとともに、様々なコスト上昇が顕著であり、先行きの状況は厳しくなる。	
×	電気機械器具製造業（経営者）	・主要な取引先から、5～6月以降の受注量がかなり落ち込んでいて、春はまだ良いが夏頃には受注が落ち込むという情報ももらっているため、悪くなる。	
×	建設業（開発担当）	・今期の公共工事発注は1か月を残した現在、前年比14%減である。長引く新型コロナウイルス禍の影響である。建設業は10年以上前から不況業種で、その影響から新入社員の確保が難しくなっている。当社も社歴55年になるが、社員の確保が難しく、魅力ある会社作りが課題である。今期売上は前年比10%減と厳しい状況で、会社の維持が大事である。	
×	不動産業（管理担当）	・新年度からは経費増加で値上げを受け入れてくれる取引先もあるが、それ以上に資材や燃料の値上がりの波が大きく、利益増にはならない見込みである。取引先でも、主に清掃関連費用削減のため、自社の社員で行ったり頻度を下げる等、依頼回数を減らすところがあるため、売上減少が予想される。	
雇用	◎	—	—

関連 (北関東)	○	人材派遣会社（社員）	・まん延防止等重点措置が解除されたばかりで、取引先の宿泊施設の稼働率はまだ非常に低いですが、これから季節柄も良くなってきて、再びまん延防止等重点措置が適用されるようなことがなければ、稼働率はどんどん上がっていく。
	○	人材派遣会社（社員）	・業種によるが、製造業やサービス業では人材不足が続いており、引き続き受注が増える見込みである。
	○	職業安定所（職員）	・当県のまん延防止等重点措置が解除になったことから、飲食業及び関係する卸売業からの求人が増加傾向にある。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりつつあり、ワクチン3回目接種も少しずつ進んでいる状況で、経済活動が活発化していくのではないかと。
	□	人材派遣会社（経営者）	・4月からの値上げを前に、住宅改修や公共事業等も含めてだが、工事契約等が活発になっている。この先3か月以内は、現状維持ではないかと。新入学等の新生活に向けた生活用品準備も現状維持とみている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・サービス業への派遣は伸びているが、製造業への派遣が停滞しているため、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・求人数等は前月や前年同月と比較して、余り変わらない状態が続いている。製造業からは、「受注残の仕事はあるが、物流が滞り材料が入荷しないため、納期遅延の状況もある」と聞く。原油価格高騰のなか、海外情勢も加わるため、作業量が回復していても雇用を控えるのではないかとと思われる。
	▲	*	*
	×	*	*